

公益社団法人米原市シルバー人材センター

令和4年度(2022)事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

I. 事業概況

令和4年度は、コロナ禍による経済停滞、2月にはロシアのウクライナ進攻や中国の経済停滞、欧米の金利引き上げなど、我が国の経済を揺るがす様々な出来事が起こり経済活動は多大なる影響を受け、シルバー人材センター事業においても大変厳しい状況が続いております。

全国のシルバー人材センターの登録する会員数は、686千人、令和6年度までの「第2次会員100万人達成計画」についてはコロナ前の会員数にまでも回復すること難しい状況にあります。

このような状況下でありましたが、米原市シルバー人材センターは、令和4年度の事業実績は派遣・請負・委任業務が好調に推移し会員の登録者数も前年を超えることが出来ました。

高齢者の就業意欲の受け皿として会員拡大に向けた取り組みの成果が実績に繋がったと考えております。

今後も安全・適正就業に注力しながら会員の増強と育成に尽力し法令遵守した運営に努め地域社会に貢献してまいります。

令和4年度の事業内容は以下の通りです。

項目	令和4年度	令和3年度	対前年比(%)
会員数	811人	805人	100.7%
契約金額	410,335,500円	381,066,778円	107.6%
*うち派遣事業	120,147,418円	109,048,319円	110.1%
就業延べ人員	88,537人	79,037人	112.0%
*うち派遣事業	19,228人	17,203人	111.7%

II. 事業詳細

(1)安全で適正な就業の徹底について

安全就業への取り組みは、シルバー事業運営における重要課題と位置付けて、各種講習会等によって会員の安全意識の向上を図り、安全・適正就業委員会を中心に事故防止対策を講じてまいりました。

しかしながら、令和4年度の事故状況は「安全メール」でお知らせした通り、物損事故は16件、傷害事故は7件発生いたしました。その内訳は物損事故においては、車の運転に関する車輛事故が6件、除草作業での飛び石による事故が4件、剪定作業で4件、技能作業で2件でした。傷害事故においては、工場内での事故・屋外作業・通勤途上で7件でした。夏場での屋外作業対象者に熱中症対策として携帯アラームを貸し出し実施しました。運転業務については、特に人命を預かる送迎業務になることから従事者の年齢制限を設けることで、会員の運転業務の不安解消に繋がり安心した業務に携わっていただくよう年齢制限75歳を設け、令和5年4月より実施することとなりました。

令和4年度も会員の皆様に「安全標語」の募集を行い、多数のご応募をいただき、安全・適正就業委員会において、最優秀賞1件、優秀賞2件、入選4件を選考し12月の「安全メール」にて全会員の皆様にお知らせいたしました。

最優秀賞は「まあ いいか 甘い判断 事故のもと」に決定し、令和5年度の「米原市シルバー人材センター安全のスローガン」とさせていただきます。

また、例年開催しております安全大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とさせていただきます。令和4年度の事故内容を精査し再発防止への具体的方策を構築して、令和5年度事業計画に反映させ実施してまいります。

一方、適正就業の推進については施設管理などの就業について「施設管理等就業基準」を遵守し、適正かつ公平な就業に努めました。

(2)会員の増強活動について

定期的な入会説明を事務所と近江母の郷コミュニティハウスで毎週月曜午後1時30分から実施いたしました。

就業相談については、毎週月曜日 10時からセンターと坂田駅において開催し、仕事のミスマッチなどの悩み事相談などを行い、就業先などのよりよい環境づくり努めました。

ホームページについては、活動状況、お仕事情報などタイムリーにお知らせすることにより幅広い啓発を行いました。普及啓発活動を10月米原市内4カ所で PR 活動を実施し、1月には広報紙の全戸配布、2月には新聞折り込みにて会員募集のチラシを1回実施し、2ヶ月継続して配布したことによりシルバー人材センターが多くの市民の方に啓発することが出来ました。令和4年度の入会者は、85名(男性49名、女性36名)粗入会率5.9%積極的に取り組みました。

(3)就業開拓・提供事業について

令和4年度の受託事業は、公共関係が前年比6,891千円の増、民間事業関係は前年比10,056千円の増、一般家庭についても前年比1,222千円の増となり令和4年度の契約額は18,169千円の増額となりました。労働者派遣事業は11,099千円の増となり契約金額では前年比29,268千円の増額となりました。受託事業においては、公共事業コロナ関連の清掃、消毒、受付業務等の受注増、労働者派遣事業においては、公共マイナポイント業務、量販店売場業務等の増により多くの方に就業機会を提供しました。

令和4年度の受託事業および就業率等については次のとおりです。

受託事業	当期契約額(円)	前期契約額(円)	増減額(円)
公共関係	57,220,504	50,329,298	6,891,206
民間事業所関係	190,154,080	180,097,943	10,056,137
一般家庭	42,813,498	41,591,218	1,222,280
計	290,188,082	272,018,459	18,169,623
労働者派遣事業	120,147,418	109,048,319	11,099,099
契約総額	410,335,500	381,066,778	29,268,722

●就業延べ人員

	令和4年度(人日)	令和3年度(人日)	増減(人日)
受託事業	69,309	61,834	7,475
派遣事業	19,228	17,203	2,025
計	88,537	79,037	9,500

●就業率(受託のみ)

	会員数(人)	就業実人員(人)	就業率(%)
男性	505	404	80.0
女性	306	268	87.5
計	811	672	82.9

●就業率(派遣含む)

	会員数(人)	就業実人員(人)	就業率(%)
男性	505	471	93.3%
女性	306	289	94.4%
計	811	760	93.7%

令和4年度は指定管理2年目となり坂田駅利用者のサービス向上と米原市民の憩いの場として「田んぼっ湖カフェ」を継続して運営いたしました。11月には、「五周年記念まいどおおきにセール」を開催することが出来ました。

母の郷コミュニティハウス施設管理においては、9月に消防署の指導により火災訓練を実施、参加者は坂田駅就業メンバー5名、田んぼっ湖カフェリーダー6名により初期消火、お客様誘導の訓練を受けました。また、坂田駅就業者は、毎月定例会を実施、市の担当課と連携しながらより良いサービスに努めました。

(5) 普及啓発事業について

会員増強およびシルバー人材センターのPR活動として例年行っておりました、他団体主催のイベントへの参加は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加の見合わせをいたしました。街頭啓発活動に関しては再開いたしました。

また、田んぼっ湖カフェや新聞折り込み等を通じて普及啓発に努めました。

10月に街道啓発活動(米原市内スーパーで4カ所実施)、11月に田んぼっ湖カフェ「五周年まいどおおきにセール」を開催、来場者数:250名、売上金額:203,425円でした。12月に年末企業挨拶(91社訪問)、1月に広報誌「シルバーまいばら」の全戸配布を実施、2月には会員募集のチラシ(葉刈り講習会募集チラシと併記)を新聞折り込みにて米原市全域に9,950部配布、また会員募集パンフレットの全戸配布も行い、シルバー人材センターの活動を積極的にアピールいたしました。

(6) 調査研究事業について

8月丹波市シルバー人材センター、9月には東海市シルバー人材センターが来訪され職員の相互間のパイプが生まれ、シルバーの課題でもある見積方式などの議題にふれ意見交換会を行うことが出来ました。

(7) 福祉・家事援助サービス推進活動について

高齢者世帯および共働き世帯が増加する中、行政と課題を共有連携し、介護予防・生活支援事業に取り組んでいます。福祉家事援助サービス推進委員会は4回、介護支援活動および会員のスキル向上を目的として救命救急、料理、清掃、DIY講習会を各1回計4回開催し、シルバー人材センターの啓発活動を行いました。

救命救急講習は、消防署指導によりシルバー人材センター職場体験中の大東中学校2年生2名が参加会員7名とともに受講し、救命の大切さを学び、地域に活かせる活動となりました。

講習会開催は、女性会員拡大とスキル向上と会員同士の交流を目的とし、啓発活動を行いました。

(8) 職業紹介事業について

シルバー事業は、高齢法により高齢者に就業の機会を確保・提供する受託事業を中心に、また同法において就業を希望する高齢者のために職業紹介事業については、今年度の実績はゼロでした。

(9) 安定的な運営基盤の確立について

令和4年度の職員構成は、8名体制で運営してまいりました。今後とも将来を見据えた長期安定基盤を目指すとともに、デジタル技術活用による事務の効率化を一層図りかつ事務局と各団体との連携を深めつつ組織の強化に取り組みました。

また、シルバー人材センターの組織運営費は、国や市の補助金と事務手数料に依存していることには変わりなく、収支相償を原則とする公益法人の会計制度を、より柔軟に運営ができるよう関係機関に引き続き要請を行いました。

(10) 講習会について

近年、特にお客様から求められるのが就業中マナーです。今年度は、サービス業従事者を主に接遇講習会を計画し実施しました。

人員不足の葉刈り作業の講習会など、サービスを意識し、質の向上を図り、就業機会の拡大を目標として、会員や市民を対象とした講習会を実施しました。

【参加者数】 154名(会員数 144名、市民 10名)

【主な講習会】 葉刈り講習会3回、安全運転技能講習会3回、安全刈払機取扱衛生責任者講習会、介護講習会、料理講習会、掃除講習会、DIY講習会

(11) ボランティア活動について

令和4年度は、7月と10月のシルバー環境美化の日に、コロナ禍の中会員216名の参加を得て市内全域を実施、10月には市内全域と駅周辺でクリーンパトロールを行い299袋回収し市内の環境美化に努めました。

また淡海エコフォスター事業に参加し、5月と9月に天野川尻において会員延36名の参加を得て、草刈り、ゴミ拾い等を行い地域の環境美化に努めました。

(12) いきいきご縁事業・田んぼっ湖カフェ

田んぼっ湖カフェは、シルバー会員の生きがいを育む場として根付きつつあり、カフェでの飲食の提供、マルシェでは会員が育てた新鮮野菜や工芸品、手芸品等を販売し市民や高齢者が気軽に立ち寄れる居場所づくりにも大いに貢献してまいりました。

また、他の機関の研修の場としても利用していただき連携し啓発を行いました。

他県のシルバー人材センターからは、独自事業について研修に来られ、シルバーのアンテナ基地として啓発を行ってまいりました。

イベントルームにおいては、会員の作品展・即売会、一般の方による展示も行い、毎

月展示会等を積極的に開催しシルバー人材センターの啓発活動に寄与しております。

カフェスタッフ会員24名、マルシェ出店会員53名が日々楽しみながら就業拡大となり、来客人数は月平均 980名、月の売り上げも 42万～75万円と推移し、令和4年度の売上額は6,487,423円、前年度対比115.5%、来客人数は11,705人となり前年度対比118.3%増となりました。カフェスタッフ会員は、毎日午前3名、午後2名で活動し、配分金の時間当たり200円～335円、カフェの材料代の原価高騰もありましたが、みなさんに喜んでいただくことを一番にスタッフ一同頑張っております。多くの方にご利用いただきありがとうございました。

今後、田んぼっ湖カフェを「シルバーの発信基地」デジタルカフェとして地域に必要とされるカフェ、憩いの場となるようカフェスタッフ、出展会員、職員一丸となり邁進してまいります。